

2017年度 海外ミッション ネパール・カトマンズ視察団日程表

スケジュール	
◆ 1日目 ◆ 11月6日 (月)	
11月6日 ～ 16:30	チャンギ空港到着、各自出国準備
19:10	シルクエア MI414便 チャンギ空港発カトマンズ国際空港行き
21:50	カトマンズ国際空港到着
23:25	ホテルにチェックイン (ラディソンホテルカトマンズ宿泊)
◆ 2日目 ◆ 11月7日 (火)	
	ホテルにて各自朝食
	専用車にてホテル出発
09:15	在ネパール日本大使館でブリーフィング
11:00	大使館出発、市内視察 (クマリの館を含む、ハヌマンドカ)
12:05	Federation of Nepalese Chambers of Commerce & Industry (FNCCI) 主催 昼食会兼意見交換会 (シャングリラホテル)
	ホテル出発、市内視察 (スワヤンプナート)
	市内視察後、ホテルに戻る。
16:10	ホテル出発、在ネパール日本大使公邸へ
18:10	在ネパール日本大使公邸にて夕食意見交換会
21:00	大使公邸出発、ホテルへ
21:30	ホテル到着
◆ 3日目 ◆ 11月8日 (水)	
	ホテルにて各自朝食、チェックアウト
	専用車にてホテル出発、
09:00	市内視察 (ボダナート)、 視察後昼食会場のホテルへ
10:45	ドゥワリカホテルにて昼食
11:50	ドゥワリカホテル出発、 カトマンズ国際空港へ
12:00	カトマンズ国際空港到着、チェックイン
13:40	ブッダエア U4 557便にてシマラへ
14:00	シマラ到着、Birgunj Chamber of Commerce & Industries (BiCC) のお出迎え
14:20	専用車でビルガンジへ移動
15:20	関西ペイント様工場見学
15:50	ノーベルテキスタイル様工場見学
17:05	ドライポート・インド国境見学
18:15	ビルガンジ時計台 副市長セレモニー
18:35	ホテルにチェックイン (ビシュアホテル)
19:30	Birgunj Chamber of Commerce & Industries (BiCC) 意見交換会及び夕食会
22:00	意見交換会及び夕食会終了後、解散

スケジュール	
◆ 4日目 ◆ 11月8日 (木)	
	朝食後、ホテルチェックアウト
05:30	専用車にて出発
	途中、休憩2回
13:55	昼食 (ホテルニルバーナ)
14:00	バイラワ経済特区見学
15:15	見学終了後、ルンビニへ
16:10	ルンビニ到着、市内視察 (ブッダ生誕の地、ドイツ寺院、妙法寺)
18:00	視察後、ホテルへ
18:10	ホテルチェックイン (法華ホテル)
19:00	ホテルにて夕食
◆ 5日目 ◆ 11月9日 (金)	
	朝食後、ホテルチェックアウト
07:45	バイラワ空港へ向け、専用車にて出発
08:20	バイラワ空港到着、チェックイン
10:05	ブッダエア U4 852にて カトマンズ国際空港へ
10:50	カトマンズ国際空港到着、市内視察へ
	昼食、市内視察バクタプール (ダルバル広場、ニヤタポーラ寺院など)
15:45	市内視察後、ネパール産業大臣表敬訪問
17:00	表敬訪問後、夕食会場へ専用車にて移動
17:30	夕食会場到着、 在ネパール日本人会商工部会主催 夕食兼意見交換会
19:30	夕食会場出発、カトマンズ国際空港へ
19:40	カトマンズ国際空港到着、チェックイン
22:40	シルクエア MI413便 カトマンズ国際空港出発、チャンギ空港行き
◆ 6日目 ◆ 11月10日 (土)	
05:40	チャンギ空港到着
	各自入国し、解散

2017年度 海外ミッション

ネパール・カトマンズ視察団 団長所感

みずほ銀行 シンガポール営業部
 栃折 卓彦

2017年度JCCIの経済視察として11月6日から11日までネパールの首都カトマンズや近隣都市を訪問しましたのでご報告いたします。今回の視察団は12名、ほぼ全員が初めてのネパール訪問となりました。見聞きしたことの多くが新鮮な驚きであると共に、ネパールの素晴らしさを認識し、素朴で温厚な国民性に魅了された、という感想を参加メンバーの皆さんが持たれたと思います。

経済視察としての観点では、南アジア最貧国、脆弱なインフラ、発展段階の法制度や社会システム、などの課題がある一方で、ヒマラヤや数々の世界遺産を中心とした世界に誇る観光資源、隣国インドとの歴史的に密接な関係、若く安価な労働力、昔からの親日国、であることから今後益々注目される新興国としての潜在力、ビジネスチャンスを理解することができました。

ネパールはシンガポールから直行便で4時間半かかります。11月6日の夕刻に出発し、4泊6日のスケジュールで、在ネパール日本国大使館訪問、タパ産業大臣の表敬訪問、ネパール商工会議所・ビルガンジ商工会議所との意見交換会、ビルガンジ視察（関西ペイント様、ドライポート、現地繊維会社等）、バイラワ経済特区視察（工業団地等）、ルンビニ視察と盛りだくさんの日程でした。其々のイベントも訪問先でご対応頂いた人数、情報量、トピック等々の面でも大変充実した内容でありました。

また、今回の視察では多くの行程において在ネパール日本国大使館小川正史特命全権大使及びスタッフの方々、在ネパール日本人会商工部会の方々にご案内頂くなど、特段のご厚意を預かりました。特に小川大使からは企画の段階から様々なアドバイスを頂くと共に、通常の経済視察では成し得ることが難しい政府高官や経済人との面談の実現において強力なサポートを頂きました。また、小川大使からはネパール、そしてご駐在が長かった中国に纏わる様々なトピックについての貴重なご高説を承りました。

ネパール連邦民主共和国は14万7000平方キロ（日本の1/3）の国土に28百万人の人口を持ってい

ます。首都はカトマンズ市、カトマンズ盆地に約3百万人が住んでいます。国土は東西1,000km、南北200kmと細長く、南北の狭い距離で海拔は南端のインド国境59mから8,848m（エベレスト）まで駆け上がります。国内便を使って移動する際に窓から見えた神々が宿るといわれるヒマラヤの山々はそり立つ壁のような形状で、下から眺めるのと一味違った雄大な眺めは大変印象的でした。

一人当たりのGDPはUS \$740と南アジア最貧国ではありますが、国民の平均年齢は20代後半と非常に若い国です。ヒンズー教徒が80%超、仏教徒が10%で信仰深いこともあり、国民性としては素朴で温厚、人懐っこく明るいことが現地の方々と接する中でも垣間見られました。基本的には内需主導の経済成長ですが、GDP割合は農林業が30%以上を占め、労働人口の64%が農林セクターに従事しています。資源輸入依存国で貿易収支は赤字ですが、海外出稼ぎ数は430万人超、郷里送金のGDP比は約30%、と経常収支の太宗を海外での出稼ぎ労働者の収入に依存しています。過去から隣国インドと政治経済面で深い関係にあり輸出入の過半をインドが占めております。また、地政学的にもインド、中国の超大国に挟まれています。両国とは永年に亘り良好な関係を維持しております。

海外からの直接投資では、2011年に二国間投資保護協定を締結したインドからの投資が活発で投資額では40%、次いで中国が15%となっています。投資分野としてはエネルギー（44%）、サービス業（21%）、製造業（19%）、観光業（10%）で、主力産業である農業への投資額は全体の2%に過ぎません。一方、日系企業ですが今回訪問した関西ペイント様など古くからネパールに進出している企業もありますが、ネパール日本人会商工部会加盟企業数は29社、新興国として今後のポテンシャルを考えると未だ少ないレベルにあります。一方でネパール産業省やネパール商工会議所など行く先々の方々とお話ししていても経済大国日本に対する期待感を強く感じました。日本人入国者は年間2万人を超えていること、ネパールから日本への留学生の数は中国・ベトナムに次いで第3位（1万8千人）にあること、昔から親日国であること、を考えると今後、経済面での日本との結びつきも更に発展することを期待したいと思います。

最後になりますが、今回の視察旅行を実りあるものにしていただいた事務局をはじめ、在ネパール日本国大使館、在ネパール日本人会商工部会などの関係者の方々、お忙しい中時間を割いて頂いた訪問先各位にお礼を申し上げます。ありがとうございました。